

第6回 リード・マネージメント研究会

会 期

2020年11月7日（土）

オンライン（ライブ）開催

当番世話人

関口 幸夫

国立病院機構霞ヶ浦医療センター 循環器内科

ご挨拶

第6回リード・マネージメント研究会

当番世話人 **関口 幸夫**

国立病院機構霞ヶ浦医療センター 循環器内科

第6回リード・マネージメント研究会の当番世話人を務めさせていただくにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。2010年リード抜去システムとしての最初のツールとしてレーザーシースが本邦にて保険償還されてから今年でちょうど10年が経過いたしました。現在ではメカニカルシースや他のパワードシース等の治療機器の選択肢も増え、リード抜去が施行できる医療施設数は右肩上がりに増加するとともに、適切な医療が施された患者様の症例数も増加し我が国のリード抜去手技は確実に成長を遂げております。

リード抜去を行うには循環器内科医師と心臓血管外科医師との十分な連携は必須であり、そのうえでメディカルプロフェッショナルを含めたひとつのチームとしての医療レベルの力が要求されます。それぞれの職種のスペシャリストが個々の役割を把握し、事前にしっかりとシミュレーションをおこなったうえで手技に望むことで、多種多様の状況に対応することが出来るものと思います。その上で欠かせないスキルのひとつに経験が挙げられます。リード抜去術は他の医療手技と比較しても、一症例ごとに異なるシチュエーションでの手技が多く要求される治療だと感じます。この点において、本研究会はリード・マネージメントに関する症例を各施設が持ち寄って、ひとつの会議場で発表し討論を深めることで、お互いの知識や貴重な経験を共有することが出来る非常に大切な機会であると考えております。本研究会に参加し、さまざまな情報を共有することが大きな財産となり、明日への医療に大いに役立つことは間違いございません。上記の意味合いから、今回は、「マネージメントに欠かせない情報・判断・テクニックとは」をテーマといたしました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大のため多くの参加者が集う対面の学術研究会として開催出来る目処が立たず、完全ライブオンライン研究会として開催致します。このため、直接お会いして討論することは出来ませんが、これからのWithコロナ時代に対応していくためにもライブオンライン形式で皆様とお会いし十分な討議が出来ればと思います。種々の不都合、不行き届きもあろうかと存じますが、全力を尽くす所存ですので、皆様の多くのご参加、活発なご意見のほど宜しくお願い申し上げます。

日程表

2020年11月7日(土) オンライン開催

8:00		
	8:30~8:35	開式の辞
	8:35~9:35	
9:00	教育セッション「知っておきたいtips and pitfalls」 座長：新田 隆・今井 克彦	演者：永島 道雄 藤生 克仁 宮城 泰雄
	9:40~10:50	
10:00	一般演題1「リード抜去関連1」 座長：合屋 雅彦・飛田 一樹	演者：金澤 尚徳・山崎 浩 森山 典晃・宮本 真和 岡野 孝弘・吉谷 和泰
	11:00~11:55	
11:00	スポンサーセッション1 座長：庄田 守男 共催：クックメディカルジャパン合同会社	演者：Saumya Sharma 伊澤 毅
	12:05~12:55	
12:00	一般演題2「リード抜去関連2」 座長：福沢 公二・古荘 浩司	演者：保坂 幸男・三山 博史・西崎 公貴 中野 智彰・岡村 昌宏
	13:05~13:55	
13:00	一般演題3「Medical Professional」 座長：野副 純世・中村 紘規	演者：置田 昌和・関谷 崇志・脇田 亜由美 服部 哲斎・松永 誠吾
	14:00~14:55	
14:00	スポンサーセッション2 座長：松本 万夫 共催：日本メドトロニック株式会社	演者：Seung-Jung Park
	15:05~15:45	
15:00	一般演題4「ペースメーカー他」 座長：四倉 昭彦・鳥井 晋三	演者：西本 隆史・谷口 浩久 林 高大・松原 巧
	15:55~16:35	
16:00	一般演題5「エキシマレーザーによる抜去他」 座長：加藤 律史・仲村 健太郎	演者：梶山 貴嗣・水野 智文 坂田 篤・筒井 健太
	16:45~17:55	
17:00	複雑症例に対するリード抜去(外科とのコラボレーション) 座長：山田 貴之・成田 祐司 コメンテーター：山田 貴之・西井 伸洋 庄田 守男・宮城 泰雄	演者：森田 純次・和田 暢 黒木 健志・川田 哲史
	17:55~18:00	閉式の辞
18:00		

参加者へのご案内

1. 第6回リード・マネージメント研究会は、zoomウェビナーを用いた完全オンラインによるライブ開催です。ご所属先やご自宅等、インターネット環境の整った場所でしたらどちらからでもご参加が可能です。

2. 参加登録

・事前参加登録制となっております。(参加登録期間：8月21日(金)～11月2日(月))

3. 参加方法

・参加費のお振込確認後、11月初旬にID/PW、オンライン学術集会HPアクセス用URLをメールにてご送付いたします。

4. 参加証兼領収証の送付について

会期終了後、メールにてご送付いたします。

5. 質疑応答

質疑応答はzoomウェビナーの「手を挙げる」の機能を使用して行います。座長の指示のもと、「手を挙げる」機能を使用し、手を挙げてください。座長から当てられた方は、音声ミュートを解除いたしますので、所属・氏名を述べたのち、簡潔にご発言ください。

演者・座長・コメンテーターへのご案内

1. 口演時間：

・発表時間・・・教育セッション（発表15分、質疑応答5分）

スポンサーセッション1（発表25分×2講演＋質疑応答5分）

スポンサーセッション2（発表50分、質疑応答5分）

複雑症例に対するリード抜去（発表9分、質疑応答7分）

一般演題（発表7分、質疑応答3分）

・スライド発表について

1) Zoomウェビナーを用いたスライドの画面共有によるご発表を行っていただきます。

2) ご登壇セッションのURLを事前にメールにてお送りいたしますので、セッション開始前の指定の時間に、お送りしたURLよりアクセスしてください。

3) 進行は座長によって行います。発表者は座長の指示に従ってください。

2. 発表形式

- ・スライドは16:9の画面比率にて作成をお願いいたします。
- ・スライドに動画・音声を埋め込まれる場合、動画が重いと、ご発表時上手く動かなかったり、カクついたりする可能性がございます。極力お控えいただくか、ファイルの重さを軽くするなど対策をお願いいたします。
- ・スライドフィルム・VHS等のビデオは使用できません。
- ・オンライン学会で提示するスライドやその他関連ファイルでの、著作権、肖像権、個人情報等の取扱いに十分ご注意ください。
オンライン学会での発表（スライド、動画等）は著作権法上の公衆送信にあたると考えられますので、共有されるスライドや動画などのコンテンツは著作権および肖像権上の問題のないものに限るようご留意下さい。
- ・リハーサル時及び会期当日のセッションに関しまして、緊急に連絡が必要な場合に備えまして、携帯電話番号のご教示をお願い申し上げます。事前にお送りいたしますフォームにご入力・ご送信をお願い申し上げます。
- ・座長・演者・コメンテーターの方の通信環境は有線LANを推奨いたします。また、できるだけヘッドセットやマイク付イヤホンのご使用をお願いいたします。

3. 進行

- ・座長・演者は事前にお知らせいたします当該セッションの指定のご入室時刻になりましたら、事前にお送りいたしますURLにてアクセスしてください。ディレクターが直前の最終打合せをさせていただきます。
発表・討論を含めて必ず時間内に終了するようにご協力ください。
- ・座長・演者・コメンテーターの方には、必要に応じて、zoomのチャット機能を使用し、リハーサル時及びセッション時にご連絡させていただく場合があります。

4. 討論

- ・参加者からの質疑応答はzoomウェビナーの「手を挙げる」の機能を使用して行いますが、座長・演者・コメンテーターからは、zoom上の直接のご発言により行います。ご自身でミュートを解除して、簡潔にご発言ください。

開会の辞

8:30 ~ 8:35

教育セッション「知っておきたい tips and pitfalls」

8:35 ~ 9:35

座長：新田 隆 羽生総合病院 心臓血管外科
今井 克彦 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 心臓血管外科

ES-1 Non functional lead に対する抜去の考え方

○永島 道雄
小倉記念病院 循環器内科

ES-2 デバイス抜去・再植え込み間の Bridge の準備と役割

○藤生 克仁
東京大学医学部附属病院

ES-3 デバイス抜去後の創部処置と再留置時期

○宮城 泰雄
日本医科大学 心臓血管外科

一般演題1「リード抜去関連1」

9:40 ~ 10:50

座長：合屋 雅彦 東京医科歯科大学 循環器内科
飛田 一樹 湘南鎌倉総合病院 循環器科

0-1 鎖骨下静脈からのリード抜去困難例に対して下肢からのリード牽引が非常に有用であった一例、DF1 リードのおまけつき

○金澤 尚徳^{1,2)}、川原 勇成¹⁾、伊藤 美和¹⁾、星山 禎^{1,2)}、辻田 賢一¹⁾
1) 熊本大学病院 不整脈先端医療寄附講座、2) 熊本大学病院 循環器内科

0-2 冠静脈洞分枝への癒着により左室リード (passive fixation) の抜去を断念した1例

○山崎 浩、服部 正幸、花木 裕一、小松 雄樹、黒木 健志、野上 昭彦、青沼 和隆、家田 真樹
筑波大学医学医療系 循環器内科

0-3 癒着性状に合わせた抜去デバイス選択が有効で合った一例

○森山 典晃、飛田 一樹、林 高大、宮下 紘和、村上 正人、齋藤 滋
湘南鎌倉総合病院 循環器科

0-4 ペースメーカー移植後43年経過したデバイス感染の一例

○森山 典晃、飛田 一樹、林 高大、宮下 紘和、村上 正人、齋藤 滋
湘南鎌倉総合病院 循環器科

0-5 リード抜去術後に留置した心房 tined lead が遠隔期に肺まで穿通した 1 例

○宮本 真和、西井 伸洋、水野 智文、西本 隆史、増田 拓郎、浅田 早央莉、川田 哲史、
中川 晃志、中村 一文、森田 宏、伊藤 浩
岡山大学 循環器内科

0-6 10 年以上残存している 3 本の VDD リードを Evolution を用いて抜去した 1 例

○岡野 孝弘、岡田 綾子、田畑 裕章、小林 秀樹、正印 航、吉江 幸司、庄田 守男、桑原 宏一郎
信州大学医学部附属病院 循環器内科

0-7 Byrd Sheath 内からの snaring にてブレイクしかけた ICD リードを抜去し得た 1 例

○吉谷 和泰¹⁾、仲村 健太郎²⁾、清水 友規子¹⁾、森 一樹¹⁾、鯨 和人¹⁾、当麻 正直¹⁾、佐藤 幸人¹⁾
1) 兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科、2) 浦添総合病院 循環器内科

スポンサーセッション 1

11:00 ~ 11:55

座長：庄田 守男 東京女子医科大学 循環器内科、信州大学医学部 循環器内科

SS1-1 Evolution RL, Safety and Efficacy of Transvenous Lead Extraction

○Saumya Sharma
Department of Cardiac Electrophysiology, University of Texas Health Science Center

SS1-2 Needle's Eye Snare as Supportive femoral approach tool

○伊澤 毅
仙台厚生病院 循環器科

共催：クックメディカルジャパン合同会社

一般演題 2 「リード抜去関連 2」

12:05 ~ 12:55

座長：福沢 公二 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野 不整脈先端治療学部門
古荘 浩司 石川県立中央病院 循環器内科

0-8 ポケット感染によるリード抜去時に癒着組織のため大腿静脈切開にてリードを回収した一例

○保坂 幸男¹⁾、高橋 和義¹⁾、土田 圭一¹⁾、田中 孔明¹⁾、有田 匡孝¹⁾、藤崎 真也¹⁾、
関谷 祐香¹⁾、渡辺 顕¹⁾、池杉 駿生¹⁾、薄田 英樹¹⁾、合屋 雅彦²⁾
1) 新潟市民病院 循環器内科、2) 東京医科歯科大学 循環器内科

0-9 三尖弁リング下に走行していた心室リードを抜去したペースメーカー感染の一例

○三山 博史、鈴木 正人、長堀 亘、呉林 英悟、今井 斎博、前野 大志、三浦 史郎、小熊 康教、
岩切 直樹、大艸 孝則、長島 雅人、山下 武廣
北海道大野記念病院

0-10 経皮的リード抜去 2 ヶ月後に急逝し、病理学的にリード抜去難渋部位の詳細を確認できた CRT-D 感染の一例

○西崎 公貴¹⁾、佐々木 真吾¹⁾、濱浦 奨悟¹⁾、外山 佑一¹⁾、金城 貴彦¹⁾、石田 祐司¹⁾、
伊藤 太平¹⁾、堀内 大輔¹⁾、要 致嘉¹⁾、木村 正臣¹⁾、富田 泰史¹⁾、庄田 守男²⁾
1) 弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座、2) 東京女子医科大学 循環器内科

0-11 当院における心臓移植症例でのリード遺残に関する実態調査

○中野 智彰¹⁾、南口 仁²⁾、岡 崇史¹⁾、小津 賢太郎¹⁾、須永 晃弘¹⁾、溝手 勇¹⁾、水野 裕八¹⁾、大谷 朋仁¹⁾、彦惣 俊吾¹⁾、澤 芳樹³⁾、坂田 泰史¹⁾

1) 大阪大学医学部附属病院 循環器内科、2) 大阪警察病院 循環器内科、
3) 大阪大学医学部附属病院 心臓血管外科

0-12 三尖弁周囲の癒着が強固で抜去が完遂不能であった非感染・非機能リードの一例

○岡村 昌宏、小倉 一能、加藤 克、飯塚 和彦、友森 匠也、高見 亜衣子、山本 一博
鳥取大学 循環器内科

一般演題3「Medical Professional」

13 : 05 ~ 13 : 55

座長：野副 純世 済生会福岡総合病院 心臓血管・大動脈センター 循環器内科
中村 紘規 群馬県立心臓血管センター

0-13 遠隔モニタリングを利用しながらもリードトラブルの発見に遅れた2例

○置田 昌和¹⁾、山田 貴之²⁾

1) 高石藤井心臓血管病院 臨床工学科、2) 高石藤井心臓血管病院 循環器内科

0-14 Multipoint Pacing における4極左室リード・マネージメントの有効性

○関谷 崇志¹⁾、横田 順¹⁾、谷川 和泉¹⁾、佐藤 孝司¹⁾、村澤 孝秀¹⁾、荷見 映理子²⁾、小島 敏弥²⁾、藤生 克仁²⁾、土井 研人¹⁾、小室 一成²⁾

1) 東京大学医学部附属病院 医療機器管理部、2) 東京大学医学部附属病院 循環器内科

0-15 リード抜去術における事前情報調査表の作成と活用

○脇田 亜由美¹⁾、花城 緑¹⁾、山内 惇熙¹⁾、阿部 敬二郎¹⁾、伊波 謙吾¹⁾、松重 安津美¹⁾、仲村 健太郎²⁾、千葉 卓²⁾、上原 裕規²⁾

1) 仁愛会 浦添総合病院 ME科、2) 仁愛会 浦添総合病院 循環器内科

0-16 当院で発生した部分遺残リードの検討

○服部 哲斎¹⁾、小川 美穂¹⁾、長谷川 静香¹⁾、佐藤 有紀¹⁾、一柳 宏¹⁾、成田 裕司²⁾

1) 名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部、2) 名古屋大学医学部附属病院 心臓外科学

0-17 機能不全リードを抜去した際に正常リードに与える影響

○松永 誠吾¹⁾、飛田 一樹²⁾、長橋 勇輝¹⁾、高橋 賢也¹⁾、田中 悠治¹⁾、稲川 梓¹⁾、木下 尚之¹⁾、満岡 宏介¹⁾、林 高大²⁾、宮下 紘和²⁾、森山 典晃²⁾、村上 正人²⁾、高室 昌司¹⁾、齋藤 滋²⁾

1) 医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 臨床工学科、
2) 医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 循環器科

スポンサーセッション2

14 : 00 ~ 14 : 55

座長：松本 万夫 東松山医師会病院 循環器内科

SS2-1 Early Experience with A Novel Active Fixation Left-Ventricular Pacing Lead: Clinical Benefits and Safety Considerations

○Seung-Jung Park

Samsung Medical Center

共催：日本メドトロニック株式会社

一般演題 4「ペースメーカー他」

15:05 ~ 15:45

座長：四倉 昭彦 カレスサップロ北光記念病院 循環器科
鳥井 晋三 北里大学医学部附属医学教育研究開発センター

0-18 CV ポートカテーテル抜去の 2 例

○西本 隆史、西井 伸洋、水野 智文、増田 拓郎、浅田 早央莉、宮本 真和、川田 哲史、
中川 晃志、森田 宏、伊藤 浩
岡山大学病院 循環器内科

0-19 ペースメーカー用リードが無名静脈の分枝へ迷入し開胸下での抜去を要した 1 例

○谷口 浩久、岩澤 仁、菅野 道貴、田村 雄一、岡部 輝雄
国際医療福祉大学三田病院 心臓血管センター

0-20 ジェネレーター交換後に創部巨大血腫が体外露出した一例

○林 高大、飛田 一樹、宮下 紘和、森山 典晃、村上 正人、齋藤 滋
湘南鎌倉総合病院 循環器科

0-21 植込み型心電計のポケット感染リスクに関する検討

○松原 巧、荷見 映理子、清水 悠、小島 敏弥、藤生 克仁、小室 一成
東京大学医学部附属病院

一般演題 5「エキシマレーザーによる抜去他」

15:55 ~ 16:35

座長：加藤 律史 埼玉医大国際医療センター 心臓内科・不整脈科
仲村健太郎 浦添総合病院 循環器内科

0-22 損傷心房リード抜去に伴い VDD ショックリードによるシステム更新を行った ICD 症例

○梶山 貴嗣¹⁾、伊藤 竜²⁾、中野 正博¹⁾、近藤 祐介²⁾、焼田 康紀³⁾、平岡 大輔³⁾、
渡邊 倫子³⁾、小林 欣夫²⁾
1) 千葉大学大学院医学研究院 不整脈先端治療学、2) 千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学、
3) 千葉大学大学院医学研究院 心臓血管外科学

0-23 ICD リード抜去術後に左内胸動脈 - 腕頭静脈シャントが顕在化した一例

○水野 智文、西井 伸洋、西本 隆史、増田 拓郎、浅田 早央莉、宮本 真和、川田 哲史、
中川 晃志、森田 宏、伊藤 浩
岡山大学病院 循環器内科

0-24 CRTD 植え込み後患者のデバイス感染に対しリード抜去および通常型ペースメーカーへの downgrade を施行した 1 例

○坂田 篤、茶谷 龍己、新垣 康、吉野 充、田坂 浩嗣、門田 一繁
倉敷中央病院

0-25 ワーファリン中止後にリード抜去し、剖検で大動脈弁血栓症と判明した リード抜去後敗血症関連急死の一例 (仮)

○筒井 健太、保谷 洋貴、川野 大輔、森 仁、池田 礼史、加藤 律史、松本 万夫
埼玉医科大学国際医療センター 不整脈科

複雑症例に対するリード抜去（外科とのコラボレーション）

16：45～17：55

座長：山田 貴之 高石藤井心臓血管病院 心臓血管センター
成田 祐司 名古屋大学医学部附属病院 心臓外科

コメンテーター：

山田 貴之 高石藤井心臓血管病院 心臓血管センター
西井 伸洋 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座
庄田 守男 東京女子医科大学 循環器内科 先進電氣的心臓制御研究部門
宮城 泰雄 日本医科大学付属病院 心臓血管外科

- 1 森田 純次
札幌心臓血管クリニック 循環器内科
- 2 和田 暢
国立循環器病研究センター 不整脈科
- 3 黒木 健志
筑波大学附属病院 循環器内科
- 4 川田 哲史
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座

閉会の辞

17：55～18：00